Q ： リハビリテーションを受けたいのですがどうしたらいいでしょうか？

A リハビリテーションは「医療保険で行なわれるもの」と「介護保険で行なわれるもの」に分けられます。

それぞれの特徴がありますので、ご自分に合ったリハビリを探すことが大切です。

また、病気の状態によっても受けられるリハビリが変わってきます。まずはそれぞれのリハビリの特徴をつかみ、あなたの症状に合ったリハビリを探してみましょう。

当クリニックの医療保険でのリハビリ

【通院（外来）リハビリテーション】
PT・OT・ST が状況に応じたリハビリテーションを提供いたします。
訓練は個別での対応（40分程度）で行います。

【訪問リハビリテーション】
自宅から出ることが困難な方に対して、ご自宅へ伺い PT・OT・ST がリハビリを行います。

※詳しくはそれぞれのページをご覧ください。

当クリニックの介護保険でのリハビリ

【通所リハビリテーション】
1 日滞在型の生活リズムを重視したサービスです。集団でのリハビリとともに、PT・OT・ST による個別リハビリを提供しています。

【訪問リハビリテーション】
自宅から出ることが困難な方に対して、ご自宅へ伺い PT・OT・ST がリハビリを行います。

【介護予防通所リハビリテーション】
短時間（2 時間）の滞在にて、状態悪化の予防を目的にリハビリを行います。

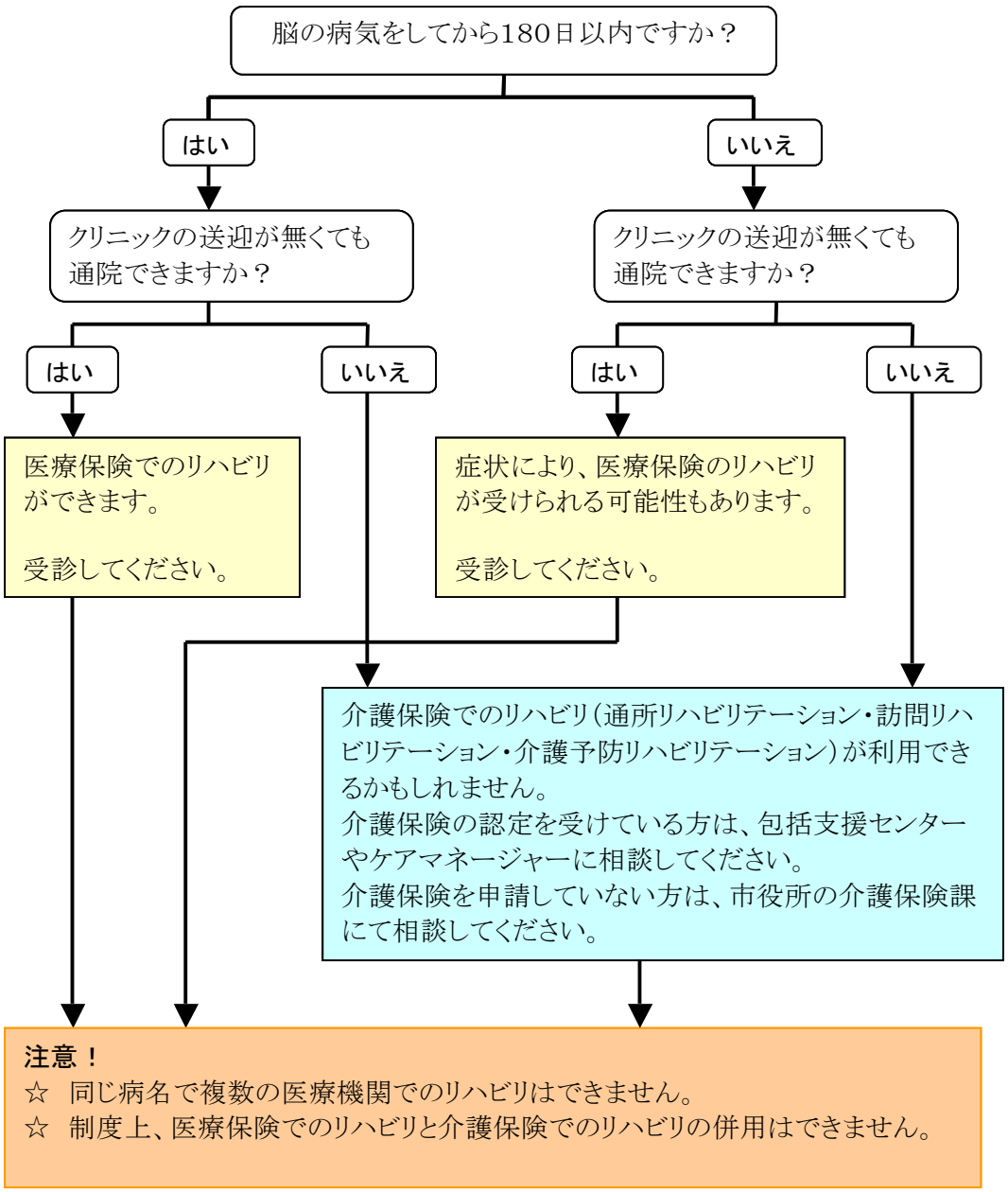
※詳しくはそれぞれのページをご覧ください。

あなたの症状でリハビリが受けられるか見ていきましょう

あなたはどんな症状ですか？

- 脳卒中や脳損傷など脳の病気の方 ▼ A の項目へ
- パーキンソン病など難病の方 ▼ B の項目へ
- 膝・腰の病気や骨折などの手術後の方 ▼ C の項目へ
- 急に動きや状態が悪くなった方 ▼ D の項目へ

A、脳卒中や脳損傷など、脳の病気の方



B、パーキンソン病など難病の方

以下の疾患に該当しますか？

- パーキンソン関連疾患
  （進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病）
- 多系統萎縮症
  （線条体黒質変性症、オリーブ橋小脳萎縮症、シャイ･ドレーガー症候群）

- 筋萎縮性側索硬化症
- 脊髄小脳変性症
- 頚髄損傷
- 全身性エリテマトーデス
- 結節性動脈周囲炎
- 悪性関節リウマチ炎
- 混合性結合組織病
- プリオン病
- 重症筋無力症
- ビュルガー病
- ウェルゲナー肉芽腫症
- 広範脊柱管狭窄症
- シェーグレン症候群
- 亜急性硬化性全脳炎
- アミロイドーシス
- 多発性硬化症
- ベーチェット病
- 強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎群
- 関節リウマチ
- モヤモヤ病
- 後縦靱帯骨化症
- ギラン･バレー症候群
- スモン
- ハンチントン病
- 特発性大腿骨頭壊死症
- 黄色靱帯骨化症
- 成人発症スチル病

クリニックの送迎がなくても通院できますか？

はい

医療保険でのリハビリができます。

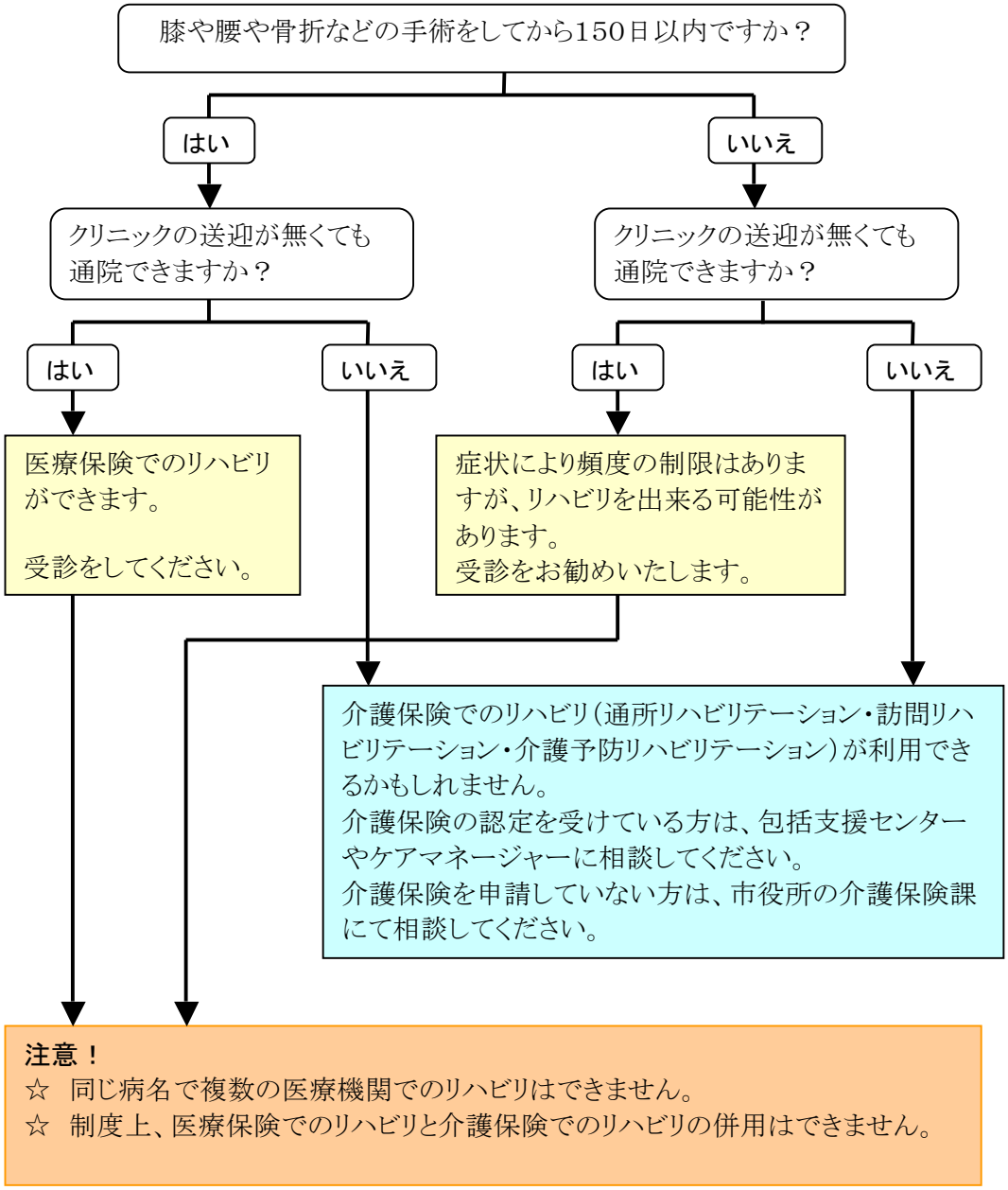
受診してください。

いいえ

介護保険でのリハビリ（通所リハビリテーション･訪問リハビリテーション･介護予防リハビリテーション）が利用できるかもしれません。
介護保険の認定を受けている方は、包括支援センターやケアマネージャーに相談してください。
介護保険を申請していない方は、市役所の介護保険課にて相談してください。

注意！
☆　同じ病名で複数の医療機関でのリハビリはできません。
☆　制度上、医療保険でのリハビリと介護保険でのリハビリの併用はできません。

C, 膝や腰の病気や、骨折などの手術後の方



D、急に動きや状態の悪くなった方

動きや状態が悪くなったのには、様々な原因が考えられます。
一度受診されることをお勧めします。

病気の治療が最優先の場合

→ 全身の状態が安定したら、リハビリが出来るかを再検討してください。

状態によっては
リハビリが出来る可能性があります。

→ リハビリが受けられるようになった場合、クリニックの送迎がなくても通院できる。

- はい → 医療保険でのリハビリの可能性があります。
- いいえ → 介護保険でのリハビリ（通所リハビリテーション・訪問リハビリテーション・介護予防リハビリテーション）が利用できるかもしれません。
介護保険の認定を受けている方は、包括支援センターやケアマネージャーに相談してください。
介護保険を申請していない方は、市役所の介護保険課にて相談してください。

注意！

☆　同じ病名で複数の医療機関でのリハビリはできません。

☆　制度上、医療保険でのリハビリと介護保険でのリハビリの併用はできません。